

【令和6年度用 様式1－表】 令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	125	豊田市立 旭中 学校	代表	後藤 光弘
------	-----	------------	----	-------

※分野【a:国際交流・国際理解、b:地域連携、c:自然体験、d:環境教育、e:学力向上、f:交流体験、g:福祉・ボランティア、h:伝統文化、i:その他()】から選ぶ。

テーマ	郷土を見つめ、郷土に学び、自らの生き方を求める生徒の育成をめざして サブテーマ 地域の人・もの・こととの関わりをとおして	分野	b	地域連携
学校づくりの視点(ねらい)	<p>1 学年ごとの大テーマのもと、生徒一人一人が個人課題を設定し追究していく活動「学びの時間」（総合的な学習の時間）に取り組み、国際理解・環境・福祉等の今日的課題を、地域の人・自然・文化・産業との関わりを通して追究することにより、自ら学び考える力、自己の生き方を求める力を育成する。</p> <p>2 地域の福祉施設や保育施設への訪問、世代間、地域間を超えて人と交わり、社会性を高め、人を思いやる心と協調性を高める。地域以外の市街地を訪問し、自分たちの地域の良さを伝える活動をする。</p> <p>3 地域の施設・名所などの訪問を通じて、地域の特徴を知るとともに地域の素晴らしさを見直す機会とする。</p> <p>4 校内整備員には、校内整備の一環として校内周りの森林の伐採等のお手伝いや助言もいただき、学びの時間の一助も担ってもらう。</p> <p>5 上記1～4の活動を通して地域から学んだことを地域へ発信し、学習の成果を確認して次へのステップとともに、地域の方々への感謝の気持ちを高める。</p>	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	<p>1 学びの時間</p> <p>4月・・・・・・オリエンテーション</p> <p>6～10月・・・・ 取材体験・体験学習・課題追究</p> <p>10月・・・・・・追究のまとめ</p> <p>10月・・・・・・発表会（文化祭など）</p> <p>2月・・・・・・活動記録のまとめ</p> <p>2 福祉施設・保育施設・地域施設名所等訪問</p> <p>6月・・・・・・杉本こども園訪問 豊田市街地で自分たちの地域の良さを伝える活動</p> <p>8月・・・・・・各施設でのボランティア活動</p> <p>11月・・・・・・あさひまつりのボランティア活動</p> <p>12月・・・・・・福祉施設「ぬくもりの里」訪問</p>			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味関心を持っている分野で、自ら課題を設定し、長期間にわたって追究することを通して、個々が潜在的にもっている能力を自ら引き出す学びの力がつく。 確かな職業観をもって働く人の生き様に触れることにより、生徒は自分自身の人生の指針としたり、自分の将来の職業について、夢を大きくふくらませたりする。 自分も地域の一員であるという所属意識が高まるとともに、将来は自分も故郷の文化を継承していく一人になるという意識が高まる。 地域の協力を得ながら、「地域に出かける、地域の人から学ぶ、地域へ提案する等」の活動を通して、地域との関わりを深めるとともに、学校の活動を理解していただくことができる。 お年寄りや幼児との交流を通して思いやりの心、奉仕の精神が育つ。 地場産業や特産物等の支援により、地域の活性化に対する意識が高まる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、訪問先の方々を招待してまとめの発表会を開催し、評価を受ける。 活動の様子を、年間を通してホームページにアップし、保護者や地域の方に知らせるとともに、保護者アンケートの「特色ある学校づくり」等の項目で評価を受ける。 			